

## 松江キャンパス 副学長に岩田氏

島根県立大

島根県立大(本部・浜田市野原町)が10日、3月末で任期満了を迎える県内3キャンパスの副学長について、松江キャンパスは岩田英作氏(59)〓人間文化学部長〓が新任、浜田、出雲の両キャンパスは、現職が再任すると発表

した。

再任は、浜田キャンパスの林秀司氏(59)と出雲キャンパスの石橋照子氏(64)。林氏は、現学長代行の山下一也氏が4月に理事長兼学長に就任するのに伴い学長代行を兼ねる。

任期は4月から2年間。ただし石橋氏は定年のため1年間となる。規則では副学長の任命は理事長に一任され、清原正義現理事長兼学長が選任した。

(宮廻裕樹)

# 山陰総合

題字  
上野 栞愛  
(浜田一中3年)

## 学童保育 学生ボラ活躍 評価に加点 大学も後押し

### 島根

島根県が拡充を進める放課後児童クラブについて、ボランティアの大学生が子どもたちの見守りを担う動きが広がっている。大学側が授業の一環として評価し、クラブ側も若い人材の

協力に感謝し、即戦力として期待する。県も学童保育の充実につながる取り組みと判断し、受け入れクラブ数の増加を目指す。

2022年12月下旬、出雲市斐川町の出西児童クラブでは近くの西野小学校の1〜3年生が集まり、読書や宿題に励んだ。「先生、これがよく分からん」。算数の問題に首をひねる女子児童に、島根県立人間文化学部1年の板倉歩夏さん(19)が対応した。

同大は支援員のボランティアを募集する県内クラブの情報を取りまとめ、学生に提供。22年度に開講した人間文化学部の必修科目「保育・教育職場体験活動」の単位取得に必要な活動として認めた。



放課後児童クラブで子どもを見守る島根県立大の板倉歩夏さん。出雲市斐川町、出西児童クラブ

保に苦勞する施設は多い。出西児童クラブは41人の所属児童に対し常勤職員が5人。平時は3人態勢で見守りを実施しており、板倉さんを含む2人の学生ボランティアが大きな戦力で、池田恵美クラブ長(56)は「とても助かる。児童も若い人と触れ合うことで学びや遊びが深まっているように見える」と話す。

島根大教育学部も「1000時間体験学修」と題した教員養成プログラムの一環に位置づけ、22年度は両大の学生114人が松江、出雲、安来、大田、雲南各市の計17クラブを手伝う見込み。県は西部のクラブでも受け入れが進むよう、市町村を通じて周知を強める考えで、県子ども・子育て支援課の米原陽介調整監は「クラブ、学生、子どもの3者に好影響が期待できる。さらに広げていきたい」と述べた。(佐々木一全)